

【日本文化紹介報告書】

1. 概要

日時：2019年7月20日（土）9時～12時

場所：ソロラ県ソロラ市 中央公園

主催：JICA 事務所（協力隊員 14 名、JICA 事務所スタッフ 4 名参加）

協力：サンカルロス大学中等教員養成校（EFPEM）算数クラブ、農牧食糧省ソロラ県事務所
国家文民警察（PNC）防犯副総局、PNC ソロラ警察署、ソロラ市役所

2. 内容

（1）写真展及び顔出しパネル

JICA ボランティア派遣 30 周年を記念し、公園の一角を利用して写真展を開催しました。過去に日本人隊員と一緒に活動した人、JICA 帰国研修員、日本語を勉強している学生などの参加も目立ちました。顔出しパネルはソロラの人はあまり馴染みがないのか説明しないと使い方が分からない人が多かったのが印象的です。



（2）算数・数学部会による算数教室

掛け算が苦手な子供たちに掛け算に親しみを持って欲しいとの思いから、教育隊員の企画で実現しました。一度始めると楽しくて長居する子供たちが多く、隊員も子供たちと交流が持て満足していました。



(3) EFPEM 算数クラブにより算数ゲーム

今年3月より JICA 算数・数学部会と連携を開始した EFPEM 算数クラブは子供から大人まで多くの人と、持参した知恵ゲームで遊びながら頭の体操を行いました。



(4) PNC の出し物

前回のウspanタン市での日本文化紹介で PNC の出し物が子供に大人気だったため今回も PNC に協力を依頼し、お城のふわふわ、フェイスペインティング、バルーンアートその他、マリンバ演奏隊も首都から出張サービスしてくれました。子供を楽しませるだけでなく、防犯教室を設けることで防犯副総局の本来の目的も果たすことができましたと思います。



(5) 書道 (名前書き)

名前を漢字で書くサービスを実施しました。一番人気のブースであったため長蛇の列がある時は、5人の日本人で対応し、最終的に600枚ほどの習字を書きました。



(6) 折り紙教室 (EFPEM 算数クラブとの共同コーナー)

「Origami」を聞いたことのある人は多かったのですが、折り紙を体験したことがある人は少なく、興味津々な様子で観察する人など、常に人だかりのブースでした。



(7) 過去の協力隊任地の伝統工芸品販売

トニカパン県のアクセサリー、靴、雑貨を作る職人3名も30周年記念を応援に駆け付けてくれ伝統工芸品の販売を行いました。特に雑貨を手作りしている男性は日本人好みのデザインのものも多く高品質な品揃えが印象的でした。



(8) 法被試着コーナー

大使館より借りた様々なサイズや色の法被コーナーは写真スポットでした。特に浴衣を着た隊員と一緒に写真撮影を希望する人で溢れていました。着付けに時間のかかる浴衣の代わりに法被を導入したのですが、男女関係なく着れるので実用的であったと思います。



以上